

森のテクノ

NO. **53**
秋号
2011.10.15



目次

- | | | | |
|--|---|----------------------------|----|
| ●高知県新エネルギービジョンの
推進について | 2 | ●平成 23 年度高知県山林協会
通常総会開催 | 10 |
| 高知県林業振興・環境部
新エネルギー推進課長 塚本 愛子 | | (株)高知県山林協会 総務部長 田島 史一 | |
| ●高知の山から - 53 - | 3 | ●森や自然についての
子ども達の作文コンクール | 12 |
| (株)高知県山林協会 技術顧問 細田 豊 | | ●県立甫喜ヶ峰森林公園から | 19 |
| ●秋の恵みを求めて | 5 | 指定管理者 (株)高知県山林協会 主任 黒津 光世 | |
| 高知県嶺北林業振興事務所 次長 佐藤 和幸 | | ●動 向 | 20 |
| ●平成 23 年度 民有林森林土木優良工事・民有林林道
維持管理・民有林森林土木工事木材活用設計コンクールの
審査にあたって | 8 | | |
| コンクール審査委員長
高知県林業振興・環境部 治山林道課長 森 健太郎 | | | |



高知県新エネルギービジョンの推進について

高知県林業振興・環境部 新エネルギー推進課長

塚本 愛子

本県は、全国一の森林率による豊富な森林資源、トップクラスの日照時間を誇る太陽光や年間降水量など、全国でも優位な再生可能エネルギーの資源を備えており、こうした豊富な資源を地球温暖化対策や地域振興に有効に活用することが求められています。

しかしながら、新エネルギーの導入については、経済性の問題があり、風力発電などの導入は一定進んできたものの、メガソーラーといわれる 1,000KW を超える大規模太陽光発電施設は県下にはまだなく、住宅用太陽光発電についても四国の他県と比べて導入率が低いなど、強みである自然資源を生かしきれておらず、積極的な取り組みが必要な状況です。

そこで、官民協働で取り組む本県のトータルプランである「高知県産業振興計画」（平成21年3月策定）の本年度の改定の柱の一つとして、「新エネルギーを産業振興に生かす」を位置づけました。そして、本年3月には、新エネルギー推進の具体的な施策を示す「高知県新エネルギービジョン」を策定し、①新エネルギーを産業振興に生かす ②新エネルギーで地球温暖化対策に貢献する ③将来期待される新エネルギーに取り組む の考え方のもと、知事を先頭に取り組みを進めているところです。

東日本大震災を契機として、国民の再生可能エネルギーへの期待が高まるなか、国では、エネルギー政策の抜本的な見直しの動きがあり、この8月には「再生可能エネルギー特別措置法」が制定され、来年7月から全量固定価格買取制度（注）が導入されるなど、新エネルギー導入による経済的なメリットが生まれつつあります。

特に、制度の開始後3年間は、「促進期間」として買取価格の決定にあたり再生可能エネルギー電気の供給者の利潤に配慮することとされており、このチャンスを逃すことのないよう本県における新エネルギー導入を加速化する必要があると考えています。

このため、新エネルギーによる発電施設を県内企業や地域住民、地元市町村など地域が参画して整備していく体制の検討や構築に取り組み、恵まれた新エネルギー資源のメリットを、地域で最大限に活かし、地域活性化や産業振興に繋げていくことにしています。

（注）全量固定価格買取制度：再生可能エネルギー源（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）を用いて発電された電気について、国が定める一定の期間・価格で電気事業者が買取ることを義務付けること。



高知の山から

(社)高知県山林協会 技術顧問 細田 豊

次期南海地震が30年以内に発生する確率は60%と予測されている。確率での予測ではあるが、次期南海地震は過去の資料から確実に発生する地震である。

東日本大震災による山地災害の詳細な記録は公表されていないが、恐らく、林道・作業道に関する災害、斜面の崩れなどは数多く発生したことは推察される。それらの土砂災害の引き金が震度9の地震であることからである。

次期南海地震の震度は不確定であるが、中山間地域の震度は6強との予測もある。

地震対策として重要な事項は治山・砂防に関する昭和南海地震の山地災害記録を収集し、災害対応を検討すべき時期にあると思う。

山地斜面に地震力が働いたときの斜面安定に関する基礎的な事項について解説しておく。

地震力が斜面に作用したとき、斜面に付加される力(注:荷重)は崩れに抵抗する力が減少し(注:斜面に対して垂直な方向に作用する力の分力)、崩れを引き起こす力(注:斜面に平行な分力)が増加する。その結果、斜面の安全率(F)が減少し、斜面の安定度は低下し、崩れの危険度が高くなる。

地震力で注目されるべき力は地震加速度の大きさである。力について説明すれば、力(F)は次式で説明される。

$$F = M \cdot \alpha, F = W / g \cdot \alpha$$

ただし、M:質量、 α :加速度、W:重量、 g :重力加速度

加速度が大きくなれば、なるほど力は増大するわけである。

次期南海地震に関する「第2次高知県津波アセスメント調査事業報告書、2002」に記載されている“予想される最大加速度分布図(大字を単位とする)”を引用したのが図-1である。

記載されている最大加速度は、恐らく、水平方向

に作用したと推測される地震加速度であろう。図から震源に近い四万十帯、秩父累帯、三波川帯への地震加速度の低減の傾向が推測される。図の最大加速度から斜面に作用する地震力の強弱が推測されることは斜面对策を検討する有力な参考資料になる。特に、斜面の受ける地震力の強さの分布がほぼ地質帯別に関して概略把握されることから、斜面の安定度、ときには落石の危険度を推察する有力な資料にもなる。

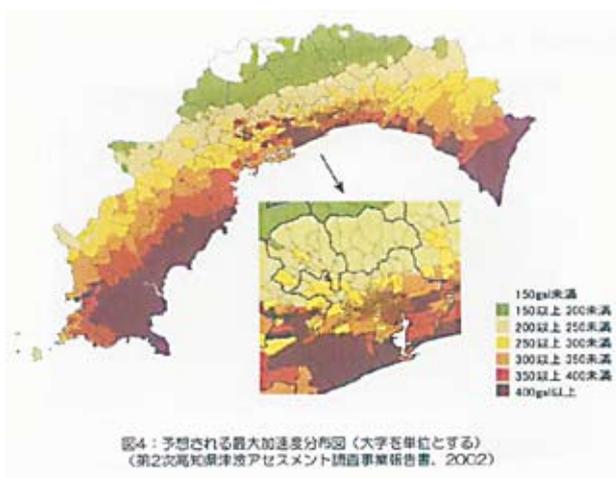


図4: 予想される最大加速度分布図(大字を単位とする)
(第2次高知県津波アセスメント調査事業報告書、2002)

図-1 予測された最大加速度分布図

表-1は参考までに図-1から地震加速度の数値を引用して(α/g)を計算した数値である。

表-1

地震加速度 (gal)	α / g	備 考
150 未満	0.15	地震力 (F) = $W \cdot \alpha / g$ W: 崩壊土量
150~200	0.15~0.20	
200~250	0.20~0.26	
250~300	0.26~0.31	
300~350	0.31~0.36	
350~400	0.36~0.41	
400 以上	0.41	

崩壊土量・落石などの重量が推測されるならば地震力が計算可能である。

斜面に対して垂直に働くセン断抵抗力 (τ_r) は

$$- (\alpha / g) W \cdot \sin \theta \cdot \tan \phi$$

斜面に平行に働くセン断力 (τ) は

$$+ (\alpha / g) W \cdot \cos \theta$$

である。

上式で計算される数値は地震加速度が水平方向に作用したときに付加される地震力である。

処が、地震時に発生する落石の運動は複雑であるが、単純化して考えれば、転石・巨石群に作用する地震加速度は水平・垂直方向に作用すると推測される。その結果、転石、個々の巨石群の運動は巨石の噛み合わせが緩み、個々の巨石群が落下するか？、回転運動を開始するは？である。

転石・巨石群に水平・垂直方向の地震加速度を考慮したとき、斜面方向、斜面に垂直な方向に作用する地震力は次式で表される。

垂直方向の地震力 (F_v) は

$$F_v = W \cdot (\alpha_v / g)$$

α_v : 垂直方向の地震加速度、 g : 重力加速度、 W : 土塊重量

斜面方向の分力 (F_s) は

$$F_s (\tau) = -W \cdot (\alpha_v / g) \cdot \sin \theta$$

地震力の斜面に垂直方向の分力 (F_v) は

$$F_v (\tau_r) = -W \cdot (\alpha_v / g) \cdot \cos \theta \cdot \tan \phi$$

結果として、垂直の地震加速度のみを考慮したときの転石、巨石群に働く力は次式で表される。

斜面方向の分力 (τ) は :

$$\tau = W \sin \theta - (\alpha_v / g) W \sin \theta$$

斜面に垂直な方向の分力

$$r = \{ W \cos \theta - (\alpha_v / g) W \cos \theta \} \cdot \tan \phi$$

斜面に水平な方向の地震加速度を顧慮した分力については前号を参照されたい。

地震の水平加速度を考慮した場合の地震力は :

斜面に平行な方向の分力 =

$$\tau = W \sin \theta \mp W \cdot (\alpha_h / g) \sin \theta$$

$$- W \cdot (\alpha_v / g) \sin \theta$$

斜面に垂直な方向の分力 =

$$\tau_r = \{ W \cos \theta \pm W \cdot (\alpha_h / g) \cos \theta$$

$$- W \cdot (\alpha_v / g) \cos \theta \} \tan \phi$$

転石、巨石群の安全率 (F) は次式で検討される。

$$F = \tau_r / \tau \quad F \geq 1.0 \quad \text{安定}$$

$$< 1.0 \quad \text{不安定}$$

表-1の数値、図-1の地震加速度図、山地災害の記録、などを参考に斜面の安定、落石の問題などを再考される必要があると思う。

斜面の安定・不安定に関する問題についての補足。

斜面が崩れる機構は静学的には斜面を構成する土層に働くセン断力 (τ) と崩れに抵抗するセン断抵抗力 (τ_r) の関係が次式を満足した状態になると斜面は不安定となる。ときには崩れる。安全率 (F) は次式で表される。

$$F = \tau_r / \tau < 1.0 \quad (1)$$

現地斜面の土層の状況は砂礫混じりの土砂で、均質な土層ではないことは明白である。この点は注目すべきである。

(1) 式の分子の項である崩れに抵抗するセン断抵抗力 (τ_r) は次式で表される。

$$\tau_r = C \cdot L + W \cos \theta \cdot \tan \phi \quad (2)$$

ただし、 C : 粘着力、 L : すべり面の弧長、 W : 崩れる土塊重量、 θ : 斜面の傾斜角、 $\tan \phi$: 摩擦係数 (ϕ : 土層の内部摩擦角あるいはセン断抵抗角)

崩れに抵抗する力は土層の粘着力、土層内の土粒子間に働く摩擦力などの総合された力がセン断抵抗力であることは (2) 式から明らかである。

土層内に水分が浸透すると土粒子間に働いていた摩擦力が減少する。その結果、セン断抵抗力は減少する。当然土層の粘着力は減少する。

例えば、乾燥砂を落下させて砂山を作ることができるのは砂粒子間に働く摩擦力があるためである。摩擦力が働か無ければ砂山は出来ない。

斜面の土層に重力の作用で斜面の下方の方向に働く摩擦力はセン断力 (τ) である。その力は :

$$\tau = W \sin \theta \quad (3)$$

斜面上に重量のある物体 (転石・巨石・建物など) がある場合には、これらの物体の斜面方向の分力は付加される加重である。

(以下・次号)

秋の恵みを求めて

高知県嶺北林業振興事務所 次長 佐藤和幸

夏を過ぎると秋、果物の美味しい季節となります。全国各地からブドウ、リンゴ、ナシなどの便りが届くようになったら、野山にも恵みの秋がやってきます。仕事の面では、発注も終わり、本格的に工事を開始しようかというところですか。

現場の工事の進捗状況が気になるのはわかるのですが、お昼休み、少しだけ山の中に足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。注意して山を見ていると、美味しい果物がそこかしこにあるかもしれません。

まずはブドウの仲間から紹介します。

ヤマブドウ ー雌雄異種のため実が生っているのを見つけるのは難しいのですが、四国山地の標高の高い地域に自生しているので、葉さえわかれば見つけることが出来るかもしれません。東北地方では、栽培されていて、ワインを生産している地域もあります。粒の大きさは8～10mm程度で、10月頃黒紫色に熟して食べられますが、味には当たり外れがあるようです。登山やハイキングで見つけたら、是非一度試食してみてください。



ヤマブドウの苗

サンカクヅル ーヤマブドウより葉も実も一回り小さいと思ってください。自生している場所は、ヤマブドウと重複する地域から少し低い地域までに分布し、味もヤマブドウと同じです。

エビヅル ー低山地から海岸近くまで分布し、

一番ポピュラーな野にあるブドウです。実は5～8mm程度で黒紫色に熟し、ヤマブドウに比べると非常に美味しく食べられます。大量に採れることがあるので、エキスを絞り出してブドウジュースやジャムを作ってみてはいかがでしょうか。美味しいですよ。



サンカクヅル

ノブドウ ーエビヅルよりもポピュラーかも知れませんが、実は食べる事が出来ないし、つるは時に樹木の生長を阻害するため、くずとともに厄介者になっています。



ノブドウ

上記3種のブドウとの違いは、実の大きさが一定してないことと赤から紫色の派手な色になることで見分けることが出来ます。葉やつるも当然違います

が、地域によっても多少の違いがあるため見分けることが難しい場合は、葉に光沢のあるものはノブドウの可能性が高いと思っていただいてもいいと思います。

次にマタタビの仲間です。

マタタビ 一瓶入りの塩漬けや酢漬けが売られているので、実は見たことがある方もいらっしゃると思いますが、山の中で見つけようとしたらどうしたらいいでしょう。大きな木に巻き付いていたり、沢筋の樹木に巻き付いて、葉が白く裏返っているような葉と緑色の葉がモザイク状にある場所がそうです。



マタタビの葉

通常の実には、3 cm ほどの先の尖った実になり、高知では9月の下旬頃、黄色からオレンジ色に熟します。この頃になると甘くておいしいのですが、青いうちは辛いというか、かじるとピリピリするほど口の中が痛くなります。塩漬けは青いうちに摘み取った実を使います。



「マタタビの実」虫入り

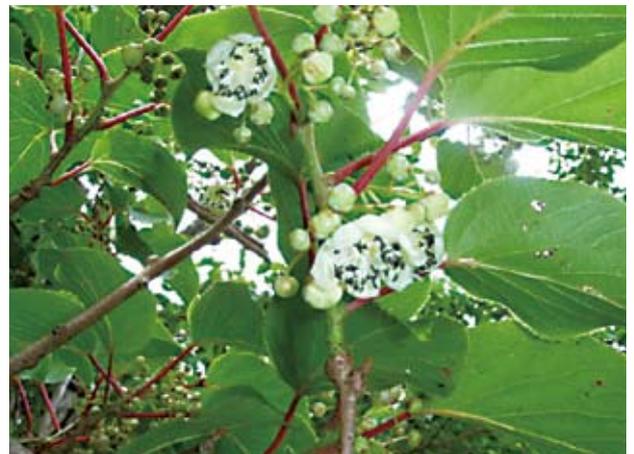
もう一つ、同じ木であっても、実が変形しているものがあります。これはマタタビノアブラムシなど

の昆虫が産卵して変形したもので、これを干したものを生薬では「木天蓼（もくてんりょう）」というそうです。この木天蓼をホワイトリカーに漬け込んだものは、冷え性、利尿、強心、神経痛に効果があるようです。一度試してみてもいいでしょうか。

サルナシ 一随分前の話になるのですが、10月の終わりぐらいでしょうか、旧物部村の奥でキー、キーと騒々しい獣の鳴き声が聞こえました。よく見ると猿が大きな木に群がって何かを食べているようでした。近づいてみると小さな丸い実を美味しそうに、むしゃむしゃと食べています。何だろう？その時は、高い木に巻き付いた蔓に実が生っているのはわかりましたが、何の実かはわかりませんでした。調べてみるとサルナシでした。語源はわかりませんが、その時は猿が食べる木の実で、格好がナシのようなものだったというところから付けられた名前なのかなと考えてしまいました。

サルナシは、山地に生える落葉つる植物で、果実にはビタミンCが豊富で、栄養価が高く、疲労回復、強壮などに効果があるといわれています。秋に淡緑黄色に熟した実を食べると、甘酸っぱくておいしく、沢山集めたら、果実酒にしてみるのもいいのではないでしょうか。

サルナシの蔓は非常に丈夫で、「祖谷のかずら橋」はこれ（別名シラクチカズラ）を使って作られています。



サルナシ

シマサルナシ 一暖地の沿海地に生える落葉つる植物で、果実はサルナシよりは少し大きく、リンゴのような形をしています。高知県では足摺半島周

辺で簡単に見つけることが出来ますが、つる性のため高木に巻き付いており、採取するのはなかなか難しいようです。落葉した後、緑黄色に熟しているのを簡単に見つけることが出来るので、興味のある方は探してみてください。たくさん採れたら、リンゴと一緒に保存し、熟成させてから食べると、キウイと同じような味がしておいしいですよ。

ところで、キウイフルーツは、中国原産のシナサルナシがニュージーランドに入って改良されたもので、鳥の「キウイ」に似ているところから名付けられました。シマサルナシはシナサルナシの近縁種と考えられますので、改良すれば大きなものが出るかもしれません。



シマサルナシ

ケンポナシ

—大分県西国東郡真玉町白野（現在の豊後高田市白野）地区の最上流部に「猪群山」という山があります。その山への登山口に神社があり（名前を忘れたのですが）、境内に大きな「猿笛の木」がありました。「猿笛の木」と言っても大学に行くまで本当の名前を知らなかったのですが、本当の名前は「イスノキ」です。

小学生の頃、その木の枝先に大きな実（実際はイスオオムネアブラムシの寄生によってできた虫こぶ）が生っているので、登って採ってみると、実には穴（大きなものでは3～4個、小さいものは1つ）が開いていました。その穴に息を吹き込むと「ほーほー」という音が出たので、その音が猿の鳴き声だと覚え込み、その木を「猿笛の木」と呼び、毎年みんなで猿笛を採りにでかけていました。



イスノキの虫こぶ

ところが、小学5年か6年の秋のこと、普段は簡単に採れるところに生っていた猿笛が、その年に限って、登ってもなかなか採れないくらいの枝にしか生っていませんでした。そのため、12月頃まで何度か通ったのですが、落ちている実もなかなか見つけることが出来ませんでした。

そのうち、猿笛に対する興味も薄れ、同じ境内にある変な実の生る木に興味は移っていきました。友達に聞くと「ケンポーナシ」と言って、食べるおいしいということなので、みんなで食べてみました。その時に食べた味を表現するのは難しいのですが、グロテスクな格好をしているのに、甘かったことだけは忘れません。その後も何度か採りに行ったのを鮮明に覚えています。

県に採用されてから、何時か何処かで見つけようと決めていたのですが、なかなかその機会に巡り会わず、見つけたのは伊野林業事務所に勤務しているときでした。成分をみるとビタミンCが豊富で、疲労回復に効果があるということなので、果実酒にしてみました。その後、ある人から胃腸薬（健胃薬）としても効果があるということを聞き、今では毎年採りに行き、せっせと果実酒を造っています。

飲み助の私にとっては恵みの秋なのですが、いろいろな木の実で果実酒を造りすぎたので、置き場所に困っています。何故か飲む量よりも造る量の方が多いのが不思議です。みなさんも秋の恵みを見つけたら、果実酒やジュース、ジャムなど試してみてくださいいかがでしょうか。

平成23年度 民有林森林土木優良工事・民有林林道維持管理・ 民有林森林土木工事木材活用設計コンクールの審査にあたって

コンクール審査委員長

高知県林業振興・環境部 治山林道課長 **森 健太郎**

社団法人高知県山林協会主催による、平成23年度 森林土木優良工事等コンクールが開催され、去る8月26日の通常総会において入賞者が表彰されました。

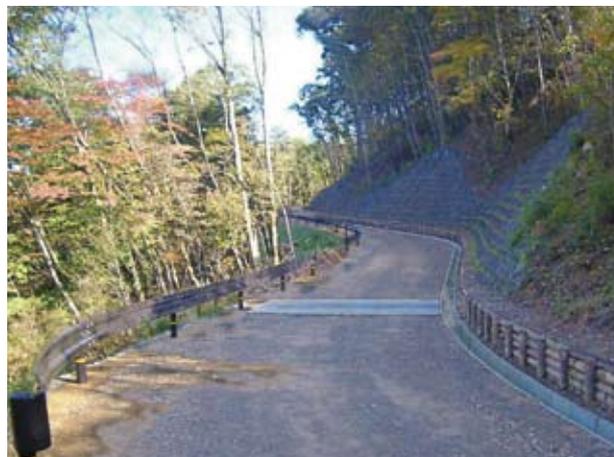


(弘瀬 復旧治山工事)

本年度、コンクールの対象となった森林土木工事は、平成22年度中に完成した民有林治山工事93件、民有林林道工事34件でした。また林道維持管理部門は、県下1,011路線のうち供用開始後3年以上経過し、延長2,000m以上のものが対象となりました。この中で、各林業事務所長から推薦のありました工事及び路線を厳正に審査しました結果、優良工事治山部門12件・林道部門7件、林道維持管理部門4件、木材活用設計部門12件、計35件を入賞とし、表彰することに決定いたしました。

表彰を受けられた皆様方に改めてお喜びを申し上げますと共に、それぞれの部門での真摯な取り組みに対しまして心から敬意を表します。

優良工事の審査に当たりましては、工事の出来栄えを中心に、施工技術・施工管理の適否等を選考基準にし、また、近年の環境保全に対する関心の高まりの中で、自然環境に配慮した工法や施工方法が求められており、環境への配慮や周囲の自然景観との調和がとれていることも審査のポイントになりました。



(林道広野九十九曲線(2工区)開設工事)

さらに、県産木材の活用が、間伐を推進し森林の各種機能を高めると共に、県内木材関連産業の振興にも寄与することから、木材を積極的に活用した工事についても引き続き評価をしました。

次に、林道維持管理部門では、路線が適正に維持管理されていることに加え、市町村及び地域住民の方々が維持管理に積極的に取り組まれていることなどを評価のポイントに審査をしました。



(加茂 林地荒廃防止工事)

最後に、木材活用設計部門では、工法の技術的な合理性、景観や自然環境との調和、県産木材活用への寄与などを総合的に判断し審査しました。

昨年度は、景気対策・雇用情勢等へ配慮した補正予算の成立により、公共事業を取り巻く状況には一

時的な明るさが見えましたが、今後は東日本大震災への対応等財源不足などに起因する公共事業への風当たりがますます強くなるものと思われます。

また、公共事業の品質を確保し、優良な事業者を育成するため、近年は企業の皆様方の施工技術や施工方法そのものが、仕事の受注に影響を与えるようなシステムになってきています。施工者の皆様方におかれましては、今後とも技術力の研さんや施工方

法の創意工夫、工事を通じた地元貢献に努められ、目的物を立派に仕上げさせていただきますようお願いいたします。

また、市町村の皆様方には、県産木材活用への取り組みにご賛同をいただき、今後益々の市町村発注工事への木材・木製品利用促進をお願いいたしまして、審査報告とさせていただきます。

民有林森林土木優良工事コンクール入賞者

(治山の部)

弘瀬復旧治山工事	有限会社	磯部組
鹿岡 ^{かぶか} No.2 林地荒廃防止工事	橋本工業	有限会社
宗ノ上林地荒廃防止工事	株式会社	谷渕組
大谷No.1 奥地保安林保全緊急対策工事	湯浅建設	株式会社
井野川復旧治山工事	有限会社	山中建設
ヒカリ石復旧治山工事	有限会社	武政建設
西川復旧治山工事	国友商事	株式会社
松ノ木No.2 林地荒廃防止工事	大洋建設	株式会社
程野林地荒廃防止工事	大洋建設	株式会社
船戸林地荒廃防止工事	有限会社	谷脇工業
クチキ復旧治山工事	有限会社	谷脇工業
不破原林地荒廃防止工事	豚座建設	株式会社

(林道の部)

森林基幹道開設事業 西谷朝日出線 2 工区工事	有限会社	岩城組
森林基幹道開設事業 奥大田三谷線 1 工区工事	大石土建	株式会社
森林基幹道開設事業 寒風大座礼東線 2 工区工事	有限会社	山中建設
森林基幹道開設事業 土居柳野線 2 工区工事	国友商事	株式会社
森林環境保全整備事業		
林道広野九十九曲線 (2 工区) 開設工事	岩井建設	株式会社
森林管理道開設事業 林道グリーンハット線 (1 工区) 開設工事	有限会社	丸重建設

幹線林道開設事業 (補正) 清水・三原線

2 工区工事 仁淀建設 有限会社

民有林林道維持管理コンクール入賞者

赤野川線	芸西村
八川赤根線	大豊町
横倉長者線	越知町
岩間藤の川線	四万十市

民有林森林土木工事木材活用設計コンクール入賞者

(治山の部)

弘瀬 復旧治山工事	土居 節夫
加茂 林地荒廃防止工事	廣末 一
井野川 復旧治山工事	清岡 哲也
ヒカリ石 復旧治山工事	湯川 直樹
松ノ木 復旧治山工事	矢野 章仁
高岩 林地荒廃防止工事	岡上 吾郎
クチキ 復旧治山工事	正岡 正
滝ノ奥No.1 林地荒廃防止工事	岩本 武広

(林道の部)

森林基幹道開設事業	
寒風大座礼東線 2 工区工事	柿部 洋文
森林基幹道開設事業	
寒風大座礼西線 1 工区工事	山陸 篤
幹線林道開設事業	
上名・用居線 3 工区工事	遠山 正男
森林管理道開設事業	
林道グリーンハット線 (1 工区) 開設工事	岡本 斉



平成23年度高知県山林協会通常総会開催

(社)高知県山林協会 総務部長 田島史一

残暑厳しい8月26日、高知新阪急ホテルに於いて、高知県知事代理の田村林業振興・環境部長様、国政よりは県選出国會議員の秘書の方々、高知県木材協会北岡会長様はじめ友好団体など大勢のご来賓の皆様のご臨席を賜り、会員（市町村・森林組合）多数参加の元に平成23年度通常総会が盛会裡に開催されました。

開会にあたり上治会長より「未曾有の災害をもたらしたあの東日本の震災から、はやくも半年近くが過ぎようとしておりますが、未だにあの巨大津波の惨状が脳裏に焼き付いて離れません。

改めまして、震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、いまだに不自由な生活を余儀なくさせられております被災者の皆様方に、心からお見舞い申し上げ、一日も早い復旧・復興を望むところでございます。



政権交代後、国におきましては、「森林・林業再生プラン」を樹立し、その大きな柱として、木材生産と公益的機能の発揮を両立させる森林経営を確立することとし、今後10年間で国産材自給率50%以上の目標を掲げ、森林計画制度を中心に国・県・市町村・森林所有者の役割を見直しするなど、森林法の一部を改正する法律がこの4月に公布され、一部の繰り上げ施行を除き、来年4月1日より施行されることとなっております。

こうした持続可能な森林経営を行ってゆくために

は、林内路網の整備など、きめ細かな各種林業施策を加え、今後ますます頻発するであろう豪雨災害に適切に対処して、林業の場としての山を守り、ひいては国民の生命・財産を保全しなければなりません。

そのためには、本協会が県下一の「技術者集団」としての自負を持ち、さらに研鑽を重ねながら、森林土木事業の技術力の向上を図り、今後も国・県・市町村・森林組合の業務の一端を担ってゆけるよう努めて参らなければなりません。

今後、国におきましては、東日本の震災復興に重点を置いた予算措置が執られると思われませんが、過疎・高齢化の進んだ地方の疲弊は目を覆うばかりになっております。

この震災の影響や経済不況などの現状を鑑みますと、今後も林野公共事業の厳しさは続くものと思われませんが、本協会の運営に当たりまして、国・県のご指導、ならびに会員の皆様方のなお一層のご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます」と挨拶されました。



続いて表彰式が行われ、森林の重要性や山村振興と森林整備事業の啓発を目的とした「森や自然についての子ども達の作文コンクール」は第11回を迎え、今年も県内の子ども達より309点と多くの応募を頂き、山の大賞（最優秀賞）受賞者の表彰には、全員の子供さんに元気に参加して頂きました。

ご両親やご兄弟姉妹、また学校の先生方にもご参

加いただき、大変賑やかな表彰式となりました。

作文コンクール開催にあたりまして、後援を頂いています高知県・(公社)高知県森と緑の会・高知新聞社様を始め審査委員、小・中学校の先生方等、関係各位のご尽力・ご協力に対しましてお礼を申し上げます。



その後、民有林森林土木優良工事・林道維持管理・木材活用設計の各コンクール表彰が行われました。毎年、優秀なものについては、中央のコンクールに推薦を行っており、昨年は全国の優れた工事箇所より潮建設(有)様が民有林林道工事コンクールで林野庁長官賞を受賞しました。

また、今年は優良な工事箇所が多く、昨年よりも民有林森林土木優良工事で7箇所増加しており、中央のコンクールの審査結果が待たれるところです。

コンクール開催にあたりまして、ご推薦をいただきました各林業事務所、審査委員の皆様方等、関係各位のご尽力・ご協力に対しましてお礼を申し上げます。

来賓として出席いただいた高知県知事代理の田村林業振興・環境部長様、県議会よりは三石副議長様、国からは林野庁長官代理で治山課水源地治山対策室の益田課長補佐様、(社)日本治山治水協会・日本林道協会会長代理の竹田総務部長様方からご祝辞を頂戴しました。

また、県選出の衆参国議員の先生方には、ご公務によりご出席いただけませんでしたが、祝電を頂戴し、ご披露させていただきました。

続いて議事に移り、平成22年度業務報告並びに

一般・特別会計収支決算及び平成23年度事業計画及び予算案等全9議案が原案通り承認されました。

この提案事項では、一般社団法人への移行についても提案がなされ、公益法人制度改革にともない、公益社団法人を目指したいところであるが、公益目的事業比率50%以上の認定基準がクリアできないなどの理由から、一般社団法人へ行かざるを得ないとの判断により、一般社団法人への移行認可を申請することが承認されました。

次に、役員の変更が行われ上治会長以下全理事が留任することで承認されました。

上治会長が「当山林協会の運営は、決算で承認をいただいた様に安定していますが、これも一重に会員の皆さん方はもちろんでございますが、県をはじめ国のご協力・ご理解のもとに推移しているところでございます。

平成23年度は、本日まで決定頂いた一般社団法人への移行等もでございますが、これからも引き続き皆さん方と力を合わせて当協会が発展する様に尽力いたしますので、どうかお力添えをいただきます様によりしく願います。」と就任の挨拶をされました。

また、下記事項が決議案として提案され満場一致で採択されました。

- 一、地球温暖化対策と山村地域振興のための全国森林環境税の創設
- 一、国産材の需要拡大の積極的推進
- 一、国土の保全と国民生活の安全を図る治山対策の積極的推進
- 一、森林の整備、中山間地域の活性化と生活環境の改善を図る路網整備の積極的推進
- 一、森林・林業・木材産業構造改善対策の積極的推進
- 一、公有林経営の健全化の推進
- 一、森林整備加速化・林業再生事業の拡充延長

森や自然についての子ども達の作文コンクール

審査委員長講評

高知新聞社 広告局長 岡村 亨

森や自然についての子ども達の作文コンクールは 11 回目を迎えました。10 回を記念して昨年は、過去の受賞者に特別寄稿をいただき、また、甫喜ヶ峰で桜の記念植樹を行い、節目の年を祝いました。その意味で今年は新たな 10 年に向けてのスタートの年となります。

今年も子ども達は元気です。小学生は、山、川、海の感動をつづり、中学生は、授業や森林体験学習で学んだことから未来に思いをはせます。10 年前と同様に、“森や自然と親しんだ心”を感動を持ってつづってくれました。応募数は 309 作品です。

作文に登場する家族のなかで、おじいちゃん、おばあちゃんの存在の大きさに気づかされます。草花の名前を教え、野菜の育て方を教えてくれます。山へ行けばタケノコの見つけ方、掘り方を教えてくれます。そして、森が山を守ってくれることを学びます。祖父母の教えは確実に子ども達の心にしみこんでいきます。知識だけでなく感動を伴って伝わっています。また、町内での年寄りとの交流会で元気をもらった、毎日挨拶してくれるのが嬉しい、という子どももいて、家族に加えて、近所のお年寄り子ども達との接触、ふれあいがもっともっとあればいいなと思いました。

東日本大震災の影響から自然の力の大きさと自然への畏怖に触れた作文もありました。自然は楽しい、美しいだけでなく違った一面を知る機会になったと思います

まず“ふれあい”から始めよう。森とのふれあい、川とのふれあい、親、兄弟、祖父母、近所の老人、震災で苦労している人たちへの思い、すべてのふれあい、つながりがいま、本当に求められています。子ども達の素直な思いと、ふれあいを周囲の大人達が一緒になって共有していくことの大事さを、子ども達からの作文から思いました。どんどん、ふれあい、つながっていきましょう。

山の大賞（高知県山林協会協会長賞）

小学校の部

低学年の部

大すきなたんけん

四万十町立米奥小学校 二年 大川内 里 奈



わたしの学校のまわりは、山や川、田んぼやはたけがあります。木もたくさんあります。春には、シロツメクサがたくさんさくのはらもあります。わたしは、生かつ科の時間にたんけんに行くのが、大すきです。いろいろなところで、虫をつかまえることができるからです。シロツメクサのはらには、テントウムシがたくさんいます。テントウムシは、手にのせたら黄色いおしっこをする時もあるけど丸くて小さくてかわいいです。シロツメクサのはらで、わたしはナナホシテントウをいっぱい見つけました。黒に赤いもようが二つついているナミテントウも見つけました。たのしかったです。シロツメクサで首かざりも作りました。一年生のいずみちゃんにあげました。

バッタもつかまえました。わたしは、テントウムシがいるシロツメクサのはらにみんなでたんけんに行くのが大すきです。

たんけんでは、モンシロチョウもたくさんとりました。キャベツのはたけのまわりにたくさんいました。さいしょは、なかなか上手にとれなかったけど、れんしゅうしたらとれるようになりました。あとからにがしてあげました。たんけんでは、ミノムシやカタツムリも見つけて、教室のしいくぼこに入れてかんさつをしました。

一ばんたのしかったことは、休んでいる田んぼでやごやオタマジャクシをとったことです。さいしょ、やごを

さがしたけど、見つからなかったから、てきとうにあみを水の中に入れてよいしょと取りました。すると、小さなやごが二十ぴきぐらいとれてびっくりしました。またやったら、でっかいやごが入っていました。一年生も、オタマジャクシややごをいっぱいとってよろこんでいました。

「オタマジャクシがとれた。見て、見て。」

と、うれしそうでした。オタマジャクシは、大きいのが小さいのが、もう足が生えているのもいました。わたしも、オタマジャクシがほしいので、何かいもやりました。つかれたけど、あきらめずにとりました。すると、さいごの一かいで、やっとオタマジャクシがとれました。わたしは、うれしくて、

「やったあ。」

と言いました。

わたしは、虫がたくさんいるよねおくが大好きです。これからも、のはらや田んぼや川へたんけんに行きたいです。

コメント

虫をつかまえることが、里奈さんの「たんけん」です。大ききだから、かんさつ力がすごい。シロツメクサのはらには、テントウムシがたくさんいて、黒に赤いもようが二つついているのがナミテントウ。黄色いおしっこをするそうです。これは知りませんでした。おとなかおまけの、里奈さんのかんさつする力にだつぼうです。

中学年の部

夏まつり

四万十町立米奥小学校 三年 山本未玖



わたしたちの米おく地区には毎年おこなわれる夏まつりがあります。わたしたち小学生も店を出します。去年は、赤組白組でわかれて、何をするかきめていました。わたしたちのところは、金魚すくいになりました。わたしは、よかったなあと思いました。夏まつりの日まで、先生やお家の人にも協力してもらってじゅんびをしていきました。

いよいよまつりの日になりました。金魚は、お父さんたちが持ってきてくれました。そして、水そうにいれていました。お客さんが、さっそくきてうれしかったです。わたしのいとも来てくれました。水をいれてやっていた時、金魚がにげていました。お客さんが、いっぱいとれた時、すごいなあと思ってお母さんに、二百円もらってやりました。むずかしかったけどとれてよかったです。ちいきの人やぼんおどりのり子おばあちゃんも来てくれました。うれしかったです。わたしは、いっぱい来てくれてはうれしいなあと思いました。でも、ちいきの人ともぼんおどりをおどれてよかったです。

まつりのさい後は、沈下ばしにたいまつをともします。米おくの近くには、二つの沈下ばしがあります。その一つの一斗俵の沈下ばしは、四万十川で一番古い沈下ばしです。まわりには、田んぼやしょうが畑がたくさんあって、川の水はいっぱいザアアと音を立てて流れています。はしをわたった時、風がひんやりとせずいいです。その沈下ばしのはしにたいまつをならべていきます。たいまつに火がともって、まわりがぐらぐらになると、火がゆれてきれいでした。雨がふって火がきえなくてよかったと思いました。まわりの人

「きれいやねえ。」

と言っていました。今年もやるのでいっぱい来てほしいです。

コメント

今年も夏まつりがやってきます。去年金魚すくいの店をだした未玖さん。いろんな準備をしてまつりの日がやってきました。いっぱいの人が出て、はずかしかったけど、のり子おばあちゃんもきてくれてうれしかった。さい後は、沈下ばしでたいまつをともします。火がともって、ゆれてきれいです。今年も去年以上に人が集まったかな。夏まつりがんばれ。

中学年の部

自然がいっぱい

中土佐町立笹場小学校 四年 笹岡 さくら



わたしは、高知県は自然がたくさんあってきれいだなあとと思います。

わたしは、いつの間にか大阪府に住んでいて大阪府の学校に通っていましたが、でも、わたしはまた高知県に住みたいなあと思っていました。その時は、あまり理由はわからなかったけど住みたいと思っていました。

今わたしは高知県に帰って来て中土佐町の笹場小学校に通っています。帰って来て一番初めに思ったことは、やっぱり高知県は景色がきれいだし、自然がいっぱいあっていいなあと思いました。

わたしが、きれいだと感じる景色は海が太陽の光でかがやいてとても広い所や、山が黄緑や緑色などいろいろな色に見えるのが心が落ち着きます。わたしの家でかっている子犬のむさしとよくはまへさんぽに行きます。その時は、田んぼがたくさん広がっている道を通ります。

高知県に帰って来て、わたしは何で高知が好きなんだろうとよく考えてみると、こんな毎日の生活の中に美しい海や山を近くに感じる事が出来るからだと思います。そんなことを考えていると、何でかはわからないけどうれしくなってきました。

大阪の学校の近くは、海もないし山もないので、何かさみしい感じがして、心が落ち着かないような気がしました。休みの日に遊ぶ時も買い物に行ったりすることが多くて、今のように外で体を動かして遊ぶことは、少なかったです。小さい時から笹場にいたわたしは、そんなことも心が落ち着かない理由でした。

自然がいっぱいの高知県ですが、この間、森林の話をしてもらった時、昔にくらべて森林の様子が変わってきていることを知りました。わたしは残念だと思います。

山にのぼったり、竹の子をほったり、木の枝を切ったり、まだまだやりたいことがあるので、笹場の自然がこれ以上こわれていかなないように守っていきたいです。

コメント

大阪から高知へ帰ってきた時の思いは「やっぱり高知県は、自然がいっぱいあっていいなあ」。毎日の生活の中に美しい海や山を近くに感じる事が出来るから好きなのかなあ。そんなことを考えていると、何でかわからないけどうれしくなってきたそうです。さくらさんのなかに、自然をうれしく感じる「高知人のDNA」があるからです。きっと。

カエルの大合唱

北川村立北川小学校 五年 阿部伊織



今年もカエルの大合唱が始まった。うちのうらには、田んぼが三つある。毎年「クワックワッ。」鳴いて合唱になっている。うらに田んぼがあるから、カエルがまどにくっついてる事もある。わたしは正直いうとカエルが大っきらいです。最近はないけれど、前はおふろにカエルがいる事がありました。もうそれはそれはすごい勢いでとびらをボタンとして、おばあちゃんとかお母さんに

「おふろにカエルがおる。いや、はやくどっかやって！」

と行ってにがしてもらいました。弟の凌河も姉の咲里もカエルがきらいです。どれぐらいきらいかというと夕がた帰った時にげんかんにカエルがいたらもうその日中

はうら口から出入りするほどです。最近おふろにカエルはいないけど、おふろをあらう時、どうしてもちょっとかたまってしまう。なのでわたしは毎年このカエルの大合唱が始まるたびに、(ああいや。まどにカエルくっついてないかな。) などと思ってしまう。田んぼがいっぱい村にあるのはいい事なのだと思うけど、やっぱりカエルがいると思うとちょっといやになる。だからカエルの大合唱を聞くと、とても近くにいる様できらいです。今までずっといやでした。でも、少しなれてきたところもあります。今までずっとカエルがいっぱいいておたまじゃくしがいっぱいいて、ずっとこんな感じだと思っていました。これが当たり前だと思っていました。でも、この間の理科のじゅ業の時に教頭先生が、

「今、カエルも減っています。」と言われてとっってもおどろきました。

「え、でもいっぱいおるで。」と言うと

「北川村は田がいっぱいあってカエルがおるけど、都会ではもう少なくなっています。」

と言われて、(えー。じゃあこんなカエルの大合唱知らんがや。) と思って、(じゃあいつかこんなの聞けんなるがや。) と思いました。

自然がどんどんなくなって、カエルも見れない、大合唱も聞けない、そうなる少しさみしい気もします。本当にこんな村でもカエルがいなくなると考えると、自然をすごく大切にしないとイケないと思います。少しずつでもいいので自然を守りたいです。

コメント

うらの田んぼから、今年もカエルの大合唱が始まった。「クワックワッ」。伊織さんはカエルが大っきらい。以前におふろにカエルがいたことがあり、いまでもおふろをあらう時、ちょっと固まってしまうほど。ところが、「今、カエルが減っている」と先生に教えられ、きらいなカエルだけど、大合唱が聞けなくなると思うと少し「さみしい」気も。自然を大切に守りたいと思い始めました。



山の大賞（高知県山林協会協会長賞）

中学校の部

自然を守る

越知町立越知中学校 三年 和田 匠



二年生の時にツムラの森協同事業で間伐をしました。間伐というのは育ちの悪い木を切って森林に日光がたくさん入るようになる方法です。この間伐で僕は森や自然の大切さをたくさん知る事ができました。

例えば森林が山にたくさんあれば、木の根が土砂崩れが少なくなる事を学びました。もし山に木が無かったら雨が降った時に土砂崩れがたくさん起こることになります。この話を聞いた時に越知町に生まれてよかったと思いました。その理由は、越知町には、山に森林がたくさんあるため、土砂崩れが起こりにくいと分かったからです。

また間伐では、のこぎりの使い方を学びました。間伐をする時はのこぎりを使って木を左右対称に切るけれど、なかなか切りにくかったです。また木を倒す時は倒す方向に人がいないか確認してから倒す事も分かりました。この間伐では、間伐をすることの大切さをとても知る事ができました。森林は人が手入れをしないとただ木が伸びるだけになってしまいます。でも人が手入れをする事によって、地面まで日光が届いて明るくなったり、上の方の葉だけでなく下の方の葉でも光合成ができるようになるため、とても環境にいい事が分かりました。また日光が届く事によって森全体がとても明るくなり、また木もよく育つようになる事が分かりました。

最近では地球温暖化がさまざまな問題を起こしています。地球温暖化の原因は工場や車の排気ガスから出る二酸化炭素です。この二酸化炭素を減らすには森林をとても大切にすることが必要です。なぜならば植物は光合成によって二酸化炭素を取り入れ、酸素を出すからです。植物が多かったら、光合成の量も増えるため、二酸化炭素を減らす事ができます。自然がたくさんある高知県に生まれたから、この森林をいつまでも無くさないようにしていく事がとても大切だと分かりました。

これからの地球の未来を作っていくのは僕たちだから、僕たちでこれから森林を増やしていきたいと思いました。これから少しでも住みやすい環境にしていきたいです。そのためには、自分達一人ひとりが環境を大切にすることを考えないといけません。これからは環境がよくなる行動をしていきたいです。

コメント

匠君は間伐を体験することで、のこぎりの使い方を習うと同時に、森林が土砂崩れを防ぐ役割を果たし、また、人の手入れが必要なことも学びました。二酸化炭素を減らすことのできる森がたくさんある高知県に生まれた、これからの地球の未来を作っていくのは僕たちだからと、環境を大切にすることを決意します。がんばれ、みんなが応援します。



四季の宝物

大豊町立大豊町中学校 三年 三 谷 麻里那



わたしの家は山の中にあります。周りは林と畑しかない山奥です。だからたまに嫌だなと思うときがあります。友達と遊びたくても遊べなかったり、店もないから買い物をしたいときに出来ないからです。

でもわたしの家の周りにはたくさんの宝物があります。それは街の人は持っていないわたしたちの大切な宝物です。

春の宝物です。それはたくさんの種類の山菜、花です。ぜんまい、わらび、竹の子など、いくら採ってもきりがなくらいあります。毎年、父と山菜をとりに行きます。かごいっぱい山菜を見ると春を実感します。母がその山菜を調理してくれます。おいしい山菜を食べれて幸せだなと思います。そしてたくさんの蕾が開きます。桜のピンク、水仙の黄色が山に彩を与えます。

夏の宝物です。それはたくさんの野菜です。トマト、ピーマン、ナス、オクラ、キュウリなどたくさん収穫できます。祖父が一生懸命に育てたものです。特にわたしが好きな野菜はトウモロコシです。夕方になると祖父が軒下で焼いてくれます。七厘で焼いた焼トウモロコシが一番おいしいです。採りたての白っぽいトウモロコシがだんだんと黄色くなり、ポンポンと音がなり少し焦げめがつけば最高の味になります。

秋の宝物です。それは山々の紅葉です。もみじ、いちよう、七竈など赤や黄に色づきます。肌寒くなるにつれ、山の色も変化していきます。見慣れた景色だけど、つい見入ってしまいます。広大な山の紅葉は素朴でわたしを素直な気持ちにさせてくれます。風が吹くと枯れ葉がカサカサと地面を移動します。

冬の宝物です。それは雪です。十二月の初め頃から毎朝カーテンを開けるのが楽しみになります。雪が積もると車の運転が危ないので父や母は嫌がります。でもわたしは雪が好きです。真っ白な雪に包まれるとなぜか特別な気がするし、とても寒いけれど、心は暖かくなります。

わたしにはこんなにたくさんの宝物があります。それは店で買うことなんて出来ません。将来、街へ出て行ってこの宝物を置いていくことになるかもしれません。でもわたしにはこの宝物が必要なので、一生大切にしたいと思います。わたしはこの宝物が大好きです。

コメント

文章がうまい。それは、自分の宝物を、一生大切にしたい大好きな宝物を、愛情込めて素直に表現しているからです。周りは林と畑がなく、たまには嫌だなと思う山奥での生活。春は父と山菜採り、母が調理する。夏は祖父が育てたトウモロコシを七輪と一緒に焼いて食べる。秋、冬にも宝物がある。自然に抱かれる幸せを文章で感じさせてくれました。



森とつながる生活

いの町立神谷中学校 三年 筒井太吉



僕たちの学校は毎年、高知大農学部の方々に森林体験をさせていただいています。中でも僕は宿泊体験学習が大好きです。

僕が初めて宿泊体験に行ったのは一年生の時でした。嶺北にある高知大の演習林に二泊三日しました。バスがどんどんと山の中に進むにつれて、「高知にはこんなにも山や森があるんだ」と実感しましたがバスの中では「テレビもゲームもない生活って面白いんだろうか？」とっていました。

しかし、高知大の学生さんと森の中の植物や木の実や虫を採集したり、薪割りをしたり、炭焼きをしたり、間伐をしたり、植樹をしたり…森とつながる体験をたくさんするうちに、だんだんテレビやゲームが無くても気にならなくなりました。

そして、森の静けさに心がひかれるようになりました。森の中に入ると、鳥の声や風の音、川の水が流れる音がします。それらを聴いていると心が落ち着きます。「静けさ」は今の世の中ではすごく貴重でぜいたくなものだとして初めて気づきました。家に帰っても時々「山に行きたいな。」と思うようになりました。

多くの人にとって、森や山というのは、そこにあるのが当たり前で皆、以前の僕のようにその素晴らしさに気づいていないのではないのでしょうか？

去年、僕は講演会で「県外の過疎地の森や山が外国資本に買われている。」という話を聞いてびっくりしました。日本人は森に対する関心が薄れているとは感じていましたが、将来後ろを振り向いてみると、森や山が自分たちのものではなくなっていたり、今とは違う姿になっているかもしれないのです。

僕は山や森は昔の人々からの預かりものだと思います。だから、僕たちも森を大切にしておいて自分の子どもや孫にバトンタッチできるように、これからの生活を大切にしていきたいです。

森とつながる生活は森に行かなくてもできます。まずは、山のどういうところが好きかを考えてみてはどうでしょうか？僕は森の静けさや、木が揺れる音や、森の匂いをイメージします。森とつながる心を持った生活を皆がすれば、きっと様々な行動につながると信じています。

コメント

『「静けさ」は今の世の中ですごく貴重でぜいたくなものだとして気づきました』。高知大での森林宿泊学習での体験です。昆虫採集、薪割り、炭焼き、間伐、植樹などの作業をするうちに、テレビやゲームがなくても気にならなくなったとも。鳥の声や風の音、水の流れる音、心が落ち着きます。森の素晴らしさに気づき、森とつながる心をみんなに持ってほしい、太吉君の願いです。



県立甫喜ヶ峰森林公園から

指定管理者 (株)高知県山林協会 主任 黒津光世

森林公園の季節の移り変わり

早いもので、今年もまた秋がやってきます。暑い暑いと言っているのもつかの間。



2010年11月16日撮影

この時期は気候がよく、散策やキャンプで訪れる家族連れや、遠足・森林環境学習の場として利用してくださる学校や幼稚園・保育園のみなさんで、賑やかになります。



2010年12月27日撮影

でも、秋は足早に通りすぎていきます。毎年12月の中頃を過ぎると、一度は雪が降ります。昨年は

少し遅く、初冠雪は年末の12月27日でした。そういえば、年明けには、出勤途中で車が前に進めなくなり、車を置いて他の職員に迎えに来てもらった日もありました。こんなことは、滅多にありませんが、平野部では雪がなくても、甫喜ヶ峰は雪で真っ白!などという日もあります。積雪のほかにも、朝晩の冷え込みでの凍結はとても危険です。どうぞ、お気を付けてお越してください。

決して白黒の写真ではありませんが、なんだか暗くなってきたので、お花の写真も。



2010年10月11日撮影

前にもこの森のテクノに掲載したシモバシラ。その時は、枯れた茎が地面から吸った水分が蒸発する際に寒さで凍った写真でしたが、秋に咲く花はこんな可憐な姿をしています。

寒い冬がやってきますが、季節ごとに、いろんな顔を見せてくれる自然も楽しいですよ。ぜひ、遊びにいらしてください。

イベント情報は、[ホームページ](http://www.kochi-sanrin.jp/hoki/)をご覧ください。

<http://www.kochi-sanrin.jp/hoki/>

動 向

野田内閣の農林水産大臣に鹿野氏再任

9月2日に発足した野田内閣の閣僚の内、農林水産大臣に鹿野道彦氏（衆・山形1区）が再任され、副大臣に筒井信隆氏（衆・新潟6区）、岩本司氏（参・福岡選挙区）、政務官に中野博子氏（衆・比例北海道）、森本哲生氏（衆・三重4区）が就任された。

一般社団法人への移行を承認される

山林協会は平成23年度通常総会を8月26日に新阪急ホテルで開催した。

公益法人制度改革による移行の方向については、理事会の決議を経て、一般社団法人への移行と定款の変更案等について議案提出し、審議の結果、異議無く承認された。

また、23年度（協会年度）中に県の公益認定等審議会へ移行認可の申請をすることも承認された。

役員改選が行われ全役員の留任が承認された。（総会の詳細は本文参照）

役員・執行体制は次のとおり。



会 長	上 治 堂 司	馬路村長
副 会 長	西 村 卓 士	土佐町長
副 会 長 兼専務理事	小 松 俊 夫	事務局
常 務 理 事	熊 瀬 幸 助	事務局
理 事	門 脇 楨 夫	香美市長
〃	塩 田 始	いの町長
〃	中 越 利 茂	椿原町森林組合長
〃	高 瀬 満 伸	四万十町長
〃	中 西 清 二	宿毛市長
〃	柴 岡 邦 男	大月町長
監 事	大 寺 正 芳	北川村長
〃	大 石 弘 秋	仁淀川町長



表 紙 写 真

場 所 県立甫喜ヶ峰森林公園
写真提供者 小松 俊夫

日 程

- 10月6・7日 全国治山林道協会会長会議（北海道）
- 16日 甫喜ヶ峰フェスティバル（県立甫喜ヶ峰森林公園）
- 11月19日 日本林道協会理事会・総会
治山林道工事コンクール表彰式（東京都）
- 12月 中旬 林野公共事業推進本部設置（東京都）

森のテクノ〈No. 53〉2011年10月15日発行

発行 社団法人 高知県山林協会

〒780-0046 高知市伊勢崎町8番24号 TEL 088-822-5331 FAX 088-875-7191
http://www.kochi-sanrin.jp